

『学ぶ教会～教会学校の意義』

吉田真司

「だから、あなたがたは行って、すべての民を私の弟子にしてください。彼らに父と子と聖霊の名によってバプテスマを授け、あなたがたに命じておいたことをすべて守るように教えなさい。」(イエス・キリストの大宣教命令。マタイ 28:19-20)

今月は教会学校強調月間です。あらためて「教会学校の意義」について共に心に刻みたいと思います。「教会学校の目的は、その活動を通して、すべての人々が、イエス・キリストを信じる信仰告白に導かれ、生の全領域において主を証しする生活を確立して行くことにある」(日本バプテスト連盟教会教育委員会 1971 年)とありますように、私たちは、教会学校を通じて、信仰決心(バプテスマ)へと導かれ、主を証しして生きる者(主の教えを守る者)への養いを受けるのです。◆教会学校は「共同学習の場」です。難解な部分が多い聖書、それは神の奥義であるがゆえに当然です。その奥義を悟るためにも、共に学び、互いの理解を聞き合って、新しい理解に自分を開いていく機会が大切です。聖書を「聞く」という機会としては、礼拝説教(宣教)があります。それは語られる言葉を聞く機会、「受ける」機会です。その受け方が正しくあるためには、聴衆一人一人それぞれが聖書の読み方が高められていく必要があります。教会学校における経験は礼拝宣教を正しく聞く力を養い、それによって礼拝が活かされていくことに繋がります。◆教会学校は「証の訓練の場」です。何事にも実践するためには練習が必要です。世(家族・学校・職場・地域)に出て自らの信仰を証しするために、その言葉を獲得すること、表現する力が必要です。師匠(リーダー)を持ち、次に自らが伝える者となる、この連鎖が大切です。つまり弟子が次なる弟子を生み出していくのです。◆また教会学校は「交わり・牧会の場」です。小人数制のCSクラスの出会いは、交わりの温かさを保持させ、互いの状況(生活・信仰状態)に心配りが出来ます。「共に生きる(他者に関心を寄せる)こと」の訓練の場でもあるのです。どうぞ「共同学習」「証の訓練」「交わり・牧会」の場たる教会学校へお越し下さい!

教会の定例集会

主日礼拝	日曜日	午前 9:00～10:00 (相模原礼拝)
		午前 10:40～12:00 (会堂礼拝)
教会学校	日曜日	午前 9:30～10:20
(嬰兒、幼児、小学生、中高生、		青年、成人、英語、聖書入門の各クラス)
祈り会	水曜日	午後 7:30～9:00
金曜集会	金曜日	午前 10:30～12:00
家庭集会(相模原)	第二火曜日	午前 10:00～12:00 (竹村家)
(すずかけ台)	第三木曜日	午後 1:30～3:00 (長谷川家)

日本バプテスト相模中央キリスト教会

〒242-0007 大和市中央林間4-24-6 TEL&FAX 046 (274) 3708

牧師: 吉田真司 音楽・子どもユース担当主事: 江原美歌子 協力牧師: 斎藤剛毅

<http://www.sccc.sakura.ne.jp>